

2016. 3. 28

プレスリリース

「内外の化繊工業の動向」

2015年 年間回顧

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。
ご高覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

概 要 (2015 年年間回顧)

2015 年のわが国の景気は企業業績が好調だったものの、個人消費や新興国の景気減速で輸出が盛り上がりには欠け景気回復が足踏み状況であった。

化繊景況は紙おむつなどの衛材、生活資材関連、保温肌着用などが堅調だったが、婦人服など一般衣料用や自動車などの産業資材用が低調だったため、化繊生産は前年比 1.6%の減となり、4 年連続 100 万トンを割り込んだ。

国 内

- 1) 衣料用は、婦人服が低調に推移し、ユニフォーム・ワーキングも一巡感が出た。保温肌着は厚地がトレンドとなりアクリルSの出荷が堅調だった。一方輸出は米国および中東民族衣装向けが堅調だったが、欧州・韓国向けが盛り上がりには欠けた。インテリア用は、カーテンが住宅着工件数の回復で上向き、タイルカーペットはオフィス・ホテル向けが活発化した。衛材・生活資材用は、紙おむつやフェイスマスクなどで中国人の日本製品に対する信頼感が厚く、製品輸出やインバンド需要が好調に推移した。産業資材用は、タイヤコード用が高水準の織物および強力糸の輸入が続き、ポリエステルF製では海外調達が殆どを占めた。エアバッグは中国、アセアン、日本の自動車生産が低調なため同用途向けの原糸輸出が減速した。カーシートは自動車生産の前年比減が続き苦戦。土木資材用は公共投資一巡で伸び悩んだが、建築資材用は首都圏の都市再開発などで順調だった。
- 2) 生産指数は、繊維工業全体で前年比（以下同じ）1.6%減、化繊 2.0%減、紡績 7.0%減。在庫指数（期末）は、繊維工業全体が 3.0%増、化繊 2.6%増、紡績 16.4%減となった。（2010 年=100、生産、在庫とも指数ベースの比較）
- 3) 繊維品輸出は、ドルベースで 81.4 億ドル・前年比（以下同じ）7.3%減、一方円ベースでは 9,850.3 億円・6.1%増。形態別（ドルベース）では、繊維原料 16.0 億ドル・6.6%減、糸類 10.7 億ドル・10.8%減、織物類 24.8 億ドル・6.3%減、二次製品他 29.8 億ドル・7.2%減。仕向地別（ドルベース）では、全体の 30.9%を占める中国が 12.1%減の 25.2 億ドル、韓国（5.0%減）、台湾（13.6%減）、香港（10.6%減）、アセアン地域は、ベトナム（1.3%減）、タイ（7.4%減）、インドネシア（13.1%減）、マレーシア（21.1%増）となり、それ以外では米州（0.1%減）、西アジア（2.9%増）、欧州（5.7%減）となった。
- 4) 繊維品輸入は、ドルベースで 369.2 億ドル・前年比（以下同じ）8.4%減、一方円ベースは 4兆4,652 億円・4.7%増。形態別（ドルベース）では、繊維原料 6.1 億ドル・8.4%

減、糸類 12.5 億^{ドル}・9.8%減、織物 13.6 億^{ドル}・8.6%減、二次製品他 336.9 億^{ドル}・8.3%減。仕出地別では、全体の 63.9%を占める中国が 12.3%減の 235.8 億^{ドル}、韓国(17.3%減)、台湾(6.5%減)、アセアン地域は、ベトナム(7.5%増)、インドネシア(0.8%増)、タイ(3.5%減)、マレーシア(1.1%減)、それ以外では、イタリア(11.6%減)、米国(8.5%減)となった。

繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	2013	2014	2015	2014年比(%)	2013年比(%)
輸出	千 ^{ドル}	8,884,257	8,775,634	8,135,372	-7.3	-8.4
計	百万円	868,915	928,473	985,032	6.1	13.4
繊維原料	千 ^{ドル}	1,681,481	1,708,932	1,596,854	-6.6	-5.0
糸類	〃	1,200,264	1,199,054	1,069,521	-10.8	-10.9
織物類	〃	2,795,705	2,652,949	2,484,690	-6.3	-11.1
二次製品他	〃	3,206,807	3,214,698	2,984,307	-7.2	-6.9
輸入	千 ^{ドル}	42,631,934	40,284,439	36,915,501	-8.4	-13.4
計	百万円	4,163,861	4,262,757	4,465,216	4.7	7.2
繊維原料	千 ^{ドル}	687,090	664,712	608,898	-8.4	-11.4
糸類	〃	1,326,418	1,387,576	1,251,229	-9.8	-5.7
織物類	〃	1,463,513	1,488,273	1,360,910	-8.6	-7.0
二次製品他	〃	39,154,913	36,743,878	33,694,465	-8.3	-13.9
(うち衣類)	〃	(33,253,265)	(30,808,302)	(28,226,145)	-8.4	-15.1
輸出レート	円/ ^{ドル}	97.8	105.8	121.1	14.4	23.8
輸入レート	円/ ^{ドル}	97.7	105.8	121.0	14.3	23.8

(出所) 財務省

5) 化繊生産は、95 万 9,683 トン・前年比(以下同じ) 1.6%減と 4 年連続 100 万トン割れとなり、うちセルロース繊維 17 万 2,553 トン・0.8%増、合繊 78 万 7,130 トン・2.2%減。期末在庫は、8 万 8,383 トンで横這い、うちセルロース繊維 1 万 3,123 トン・10.2%減、合繊 7 万 5,260 トン・2.0%増であった。

化繊輸出(繊維原料～二次製品)は、64.6 万トン・前年比(以下同じ) 0.3%減。うち、繊維原料 32.6 万トン・0.05%増、糸類 11.7 万トン・1.9%減、織物類(面積ベース) 6.24 億^{m²}・1.3%増、二次製品 10.3 万トン・0.9%減となった。品種別では、レーヨン S 38.2%増、ナイロン F 4.4%減、ポリエステル F 10.9%減、ポリエステル S 19.4%減、アクリル S 6.7%増、織物類(面積ベース)はナイロン F 織物 1.0%増、ポリエステル F 織物 0.5%減、ポリエステル S 織物 0.6%増であった。

化繊輸入(繊維原料～二次製品)は、151.9 万トン・前年比 1.4%減。繊維原料 6.9 万トン・7.4%増、糸類 22.6 万トン・1.9%増、織物類(面積ベース)は 6.4 億^{m²}・0.2%増、二次製品 109.7 万トン・2.7%減、うち衣類 55.0 万トン・4.3%減となった。品種別では、レーヨン S 5.9%減、ナイロン F 10.3%増、ポリエステル F 2.6%増、ポリエ

ステルS 16.8%増、ポリエステル紡績糸 1.0%減、織物類（面積ベース）はポリエステルF織物 0.2%増、ポリエステルS織物 6.3%増であった。

化学繊維の主要指標

項 目	単 位	2013	2014	2015	2014年比(%)	2013年比(%)
化繊生産	千トン	979.7	975.7	959.7	-1.6	-2.0
セルロース	〃	167.5	171.1	172.6	0.8	3.0
合 織	〃	812.2	804.6	787.1	-2.2	-3.1
化繊在庫	〃	81.7	88.4	88.4	0.0	8.2
セルロース	〃	15.8	14.6	13.1	-10.2	-16.7
合 織	〃	65.9	73.8	75.3	2.0	14.1
化繊輸出	千トン	643.8	648.6	646.3	-0.3	0.4
	100万ドル	5,647.6	5,604.9	5,235.9	-6.6	-7.3
	億円	5,522.6	5,933.7	6,338.7	6.8	14.8
繊維原料	千トン	331.4	325.5	325.6	0.05	-1.8
糸 類	〃	116.1	119.2	117.0	-1.9	0.8
織物類	百万㎡	615.6	615.9	623.7	1.3	1.3
二次製品	千トン	97.9	103.6	102.7	-0.9	4.9
化繊輸入	千トン	1,480.2	1,540.4	1,518.5	-1.4	2.6
	100万ドル	19,900.1	18,979.8	17,391.9	-8.4	-12.6
	億円	19,462.7	20,144.6	21,042.7	4.5	8.1
繊維原料	千トン	58.0	64.0	68.7	7.4	18.5
糸 類	〃	197.4	221.3	225.5	1.9	14.3
織物類	百万㎡	605.8	639.0	640.0	0.2	5.7
二次製品他	千トン	1,113.8	1,127.6	1,096.6	-2.7	-1.6
(うち衣類)	〃	(599.6)	(580.0)	(555.0)	-4.3	-7.4

(出所) 経済産業省、財務省

(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

6) 主要合繊品種の動向は次の通り。

<ポリエステルF>

2015年のフィラメントの生産は12万7,658トン・前年比5.9%減、12月末の在庫は1万1,820トン・前年同月比2.6%増、織物生産は3億9,812万㎡・前年比1.1%減。衣料用は国内マーケットが全般低調に推移した。ブラックフォーマルはロードサイドショップ向けが堅調だったが、主力の百貨店向けが低調。裏地はスペースの縮小が続く中、フレッシュャー向けで動きがあった。遊泳用水着は立ち上がり鈍かったが、8月の猛暑で店頭販売が盛り返した。コンプレッションウェアは飽和状態で競合が激しいが、海外大手ブランド向けが堅調。「ヨガ」向けニットは国内・輸出用ともに好調。学校体育用は回復基調に転じ、学生服・スポーツアパレルのコラボレーションが目立った。

タイヤコード用は高水準の織物・強力糸輸入が続き、同用途の国内繊維消費量の殆

どが海外調達品になった。カーシート用は国内の自動車生産の前年割れが続いたことや、合成皮革の浸透もあり苦戦した。自動車用ゴム資材や漁網は国内向けが低調だったが、間接輸出（製品にして輸出）が健闘した。カーテン向けは住宅着工件数が徐々に回復し、年央からコントラクト・ホームユース用ともに上向いた。貼付剤基布用のポリエステルニットは薬価改定、健康保険適用除外を控えて落ち込んだ。フィラメント輸出は1万5,909トンを前年比（以下同じ）10.9%減、中国2,648トンを12.3%減、香港2,476トンを28.5%減、タイ1,976トンを18.5%減、ベトナム1,797トンを27.2%増。フィラメント輸入は13万4,233トンを2.6%増、台湾5万6,133トンを6.5%減、タイ2万2,768トンを4.7%増、中国1万9,116トンを5.1%増、インドネシア1万5,748トンを1.4%増、韓国1万3,010トンを14.4%増、マレーシア6,003トンを31.0%増。

<ポリエステルS>

2015年のポリエステルステープルの生産は13万4,239トンを前年比8.4%減、12月末在庫は1万9,559トンを前年同月比4.5%増、紡績糸生産は1万3,277トンを前年比13.0%減。

綿混糸はユニフォーム・ワーキング用が備蓄一巡で荷動きが鈍った。純糸の衣料用は中東民族衣装向けが堅調、資材用の帆布は災害向けの備蓄需要があった。

製綿用は合繊メーカーの生産縮小の影響で韓国からの輸入が増加した。円安による輸入寝具製品の価格上昇で国内製綿メーカーのスペースが堅調との話がある。

不織布の衛材用は高価格帯の中国向け紙おむつ製品輸出の大幅増や旺盛なインバンド需要を背景に堅調、衛材メーカーの生産設備の増設の動きがあった。生活資材用はインバンド需要もあり、各種ワイパー、フェイスマスクなどスキンケア商品向けが堅調に推移。車両資材用は自動車生産の前年比減が続く苦戦。湿式不織布はRO膜支持体向けが多く、中国での家庭用浄水器の急拡大や大型淡水化プラント向けのリプレース需要が活発化して好調だった。

ステープル輸出は2万3,305トンを前年比（以下同じ）19.4%減、中国6,118トンを13.1%減、米国3,435トンを10.1%減、インドネシア2,212トンを47.2%減。ステープル輸入は3万9,533トンを16.8%増、韓国1万8,488トンを42.1%増、中国9,379トンを4.5%減、タイ4,285トンを7.6%減、インドネシア3,079トンを10.8%減、台湾2,495トンを75.4%増、マレーシア1,646トンを18.3%増。

<ナイロンF>

2015年のフィラメントの生産は8万9,537トンを前年比8.7%減、12月末在庫は1万710トンを前年同月比7.4%増、織物生産は1億2,295万㎡を前年比1.9%減。

パンストはプレーンタイプが堅調、数少ない「メイドインジャパン」としてインバウンドの爆買の対象となり需要を下支えした。タイツは「黒」中心に安定した動きであった。ハイテンションニットは国内向けが低調で、中国向け輸出も落ち込んだ。高密度織物はアウトドア用を中心に米国向け輸出が好調だったが、一方欧州・

韓国向けが盛り上がり欠けた。インナー用は全般低調に推移、体型補正用ボトムもリピート需要が乏しく低位で推移した。

タイヤコード用はラジアルタイヤに使用されるキャッププライ向けが健闘したが、オフロード車向けのバイアスタイヤ用が低調、高耐熱性ナイロン使いの航空機用タイヤ向けは堅調であった。エアバッグ用は中国、アセアン、日本の自動車生産の停滞により同用途向け原糸輸出が減速した。タイルカーペット用は年央以降、オフィス・ホテル向けの大型案件が活発化して堅調だった。

フィラメント輸出は3万8,524トンを前年比(以下同じ)4.4%減、タイ1万4,155トンを4.3%減、中国7,420トンを7.6%増、フィリピン6,576トンを8.1%減、ベトナム3,078トンを7.3%減、韓国2,554トンを25.3%減、米国2,013トンを12.0%増。フィラメント輸入は3万3,817トンを10.3%増、台湾8,828トンを17.5%増、米国7,974トンを11.2%増、中国4,530トンを3.4%減、韓国3,874トンを5.8%増、インドネシア3,003トンを13.9%増。

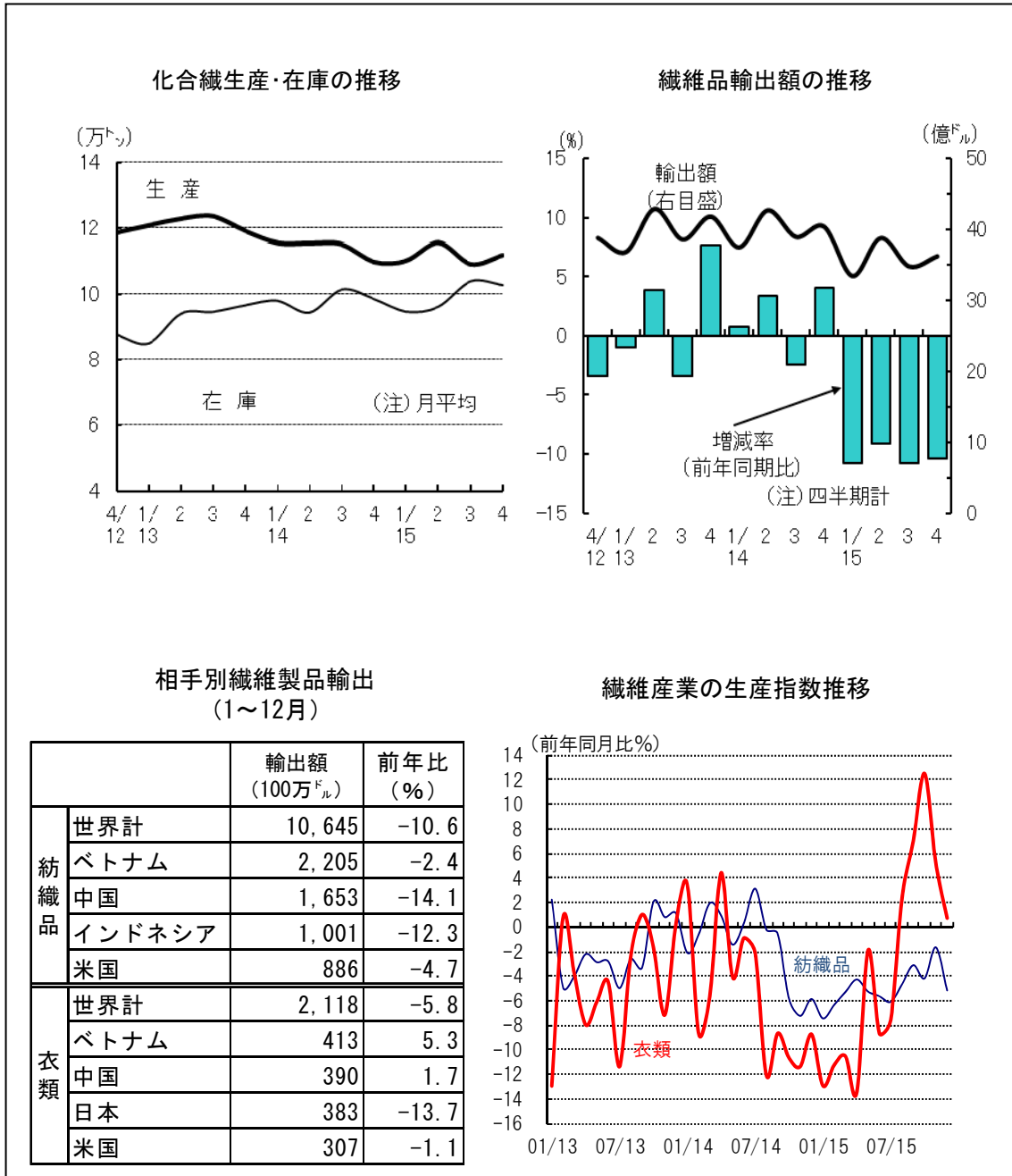
<アクリルS>

2015年のステープルの生産は14万1,517トンを前年比0.5%の微増、12月末在庫は1万1,081トンを前年同月比10.4%減、紡績糸生産は8,180トンを前年比5.1%増。

保温肌着用は厚地がトレンドになり、高目付でアクリルの混率がアップしたためステープルの出荷が順調に推移した。セーター用は長期低落傾向が続き、QR対応が求められるスクール関係など用途が限定された。靴下は一般量販店などで安価なポリエステル綿混糸使いが大半を占めるが、大手SPA向けに安定した出荷が続いた。毛布は長期凋落基調に歯止めが掛からずポリエステル使いの中国製品が店頭販売の大半を占め、百貨店ビジネス用や災害備蓄用などが少々残る程度。カーペット・マットもポリエステルやPPが素材の殆どを占めるようになった。

最大仕向地の中国は7万6,334トンを前年比(以下同じ)4.9%増、日本国内への持ち帰り用の保温肌着用などが健闘した。一方、日本メーカーが得意とするフェイクファー用は中国国内の過剰在庫が解消されないことに加え、AN価格の先安観などから現地ユーザーが買い控えたため低調。セーター用も丸編や織物へのトレンド変化で盛り上がり欠けた。インドネシアは9,319トンを8.6%減、紡績糸の供給基地として期待しているが、世界的なセーター離れの動きが影響して低調だった。インドも4,138トンを19.9%減と、好調だった14年実績の反動が出て減少した。

(7) 韓国



・概況

2015年は、韓国の繊維産業は厳しい環境が続いた。繊維品輸出は2桁減、合繊生産は減産、紡織品、衣類の生産も落ち込んだ。

・合繊生産

合繊生産は前年比 2.0%減の 134.0 万ト、4 年連続で前年実績を下回った。

主要合繊の生産をみると、主力のポリエステル F は 5.6%減の 62.2 万ト、ナイロン F は 13%減の 10.7 万ト、ポリエステル S は、堅調な短繊維輸出もあり、4.5%増の 56.7 万ト、アクリル S は 13.3%減の 4.4 万トとなった。年末在庫は前年比 5.9%増の 10.1 万トとなった。

主要合繊の生産高

(1000 ト、%)

	2011	2012	2013	2014	2015	前年比
ナイロン F	135	132	128	115	107	-7.1
ポリエステル F	761	763	742	659	622	-5.6
ポリエステル S	532	530	533	543	567	4.5
アクリル S	47	47	55	50	44	-13.3
合繊合計	1,475	1,472	1,458	1,367	1,340	-2.0

・合繊生産能力

合繊の 2015 年末設備能力は日産 4,986 トとなり、前年比で 146 ト増加した。ポリエステル F が 54 ト減少した一方、ポリエステル S が 200 ト増加した。

稼働率は合繊平均で 73.6%と前年より約 3 ポイント下落した。主要合繊 4 品種とも下落した。ナイロン F は 4 ポイント下落し 50%を下回った。アクリル S が約 10 ポイントの大幅下落となった。

主要合繊の生産能力（年末値）

(日産ト)

	2011	2012	2013	2014	2015	増減
ナイロン F	546	595	611	608	608	0
ポリエステル F	2,275	2,387	2,430	2,430	2,376	-54
ポリエステル S	1,690	1,637	1,622	1,622	1,822	200
アクリル S	160	160	180	180	180	0
合繊合計	4,671	4,779	4,843	4,840	4,986	146

主要合繊の稼働率

(%)

	ナイロン F	ポリエステル F	ポリエステル S	アクリル S	合繊計
2014.1~12	51.6	74.3	91.5	76.1	77.3
2015.1~12	47.9	71.8	85.3	66.5	73.6

・輸 出

繊維品輸出は前年比 10.4%減の 142.4 億^{ドル}、2 年連続で前年実績を下回った。全ての段階で減少しており、繊維原料は 14.8%減の 15.4 億^{ドル}、糸類は 11.4%減の 14.5 億^{ドル}、織物類は 9.7%減の 33.0 億^{ドル}、衣類は 5.4%減の 21.1 億^{ドル}、その他二次製品は 11.1%減の 58.5 億^{ドル}となった。

仕向地別に繊維品輸出をみると、紡織品は、最大のベトナム向けは 2.4%減にとどまったが、第 2 位の中国向けは 14.1%の大幅減となった。衣類は、ベトナム向けは 5.3%増、最大の輸出先となった。前年まで最大の日本向けは 13.7%減となった。

繊維品輸出実績

(100 万^{ドル}、%)

	2011	2012	2013	2014	2015	前年比
繊維原料	1,783	1,762	1,835	1,805	1,538	-14.8
糸類	1,786	1,746	1,715	1,632	1,446	-11.4
織物類	3,818	3,648	3,622	3,648	3,295	-9.7
衣類	1,836	1,907	2,095	2,233	2,112	-5.4
その他二次製品	6,739	6,542	6,671	6,581	5,851	-11.1
ニット生地	4,234	4,070	4,088	3,931	3,516	-10.6
繊維品合計	15,961	15,604	15,939	15,899	14,241	-10.4

・輸 入

繊維品輸入は前年比 1.8%減の 145.6 億^{ドル}となった。

段階別にみると、繊維原料は 8.6%減の 10.4 億^{ドル}、糸類は 8.5%減の 19.0 億^{ドル}、織物類は 2.4%減の 12.8 億^{ドル}と減少したが、衣類は 0.4%増の 85.2 億^{ドル}、その他二次製品は 0.3%増の 18.2 億^{ドル}とともに微増となった。

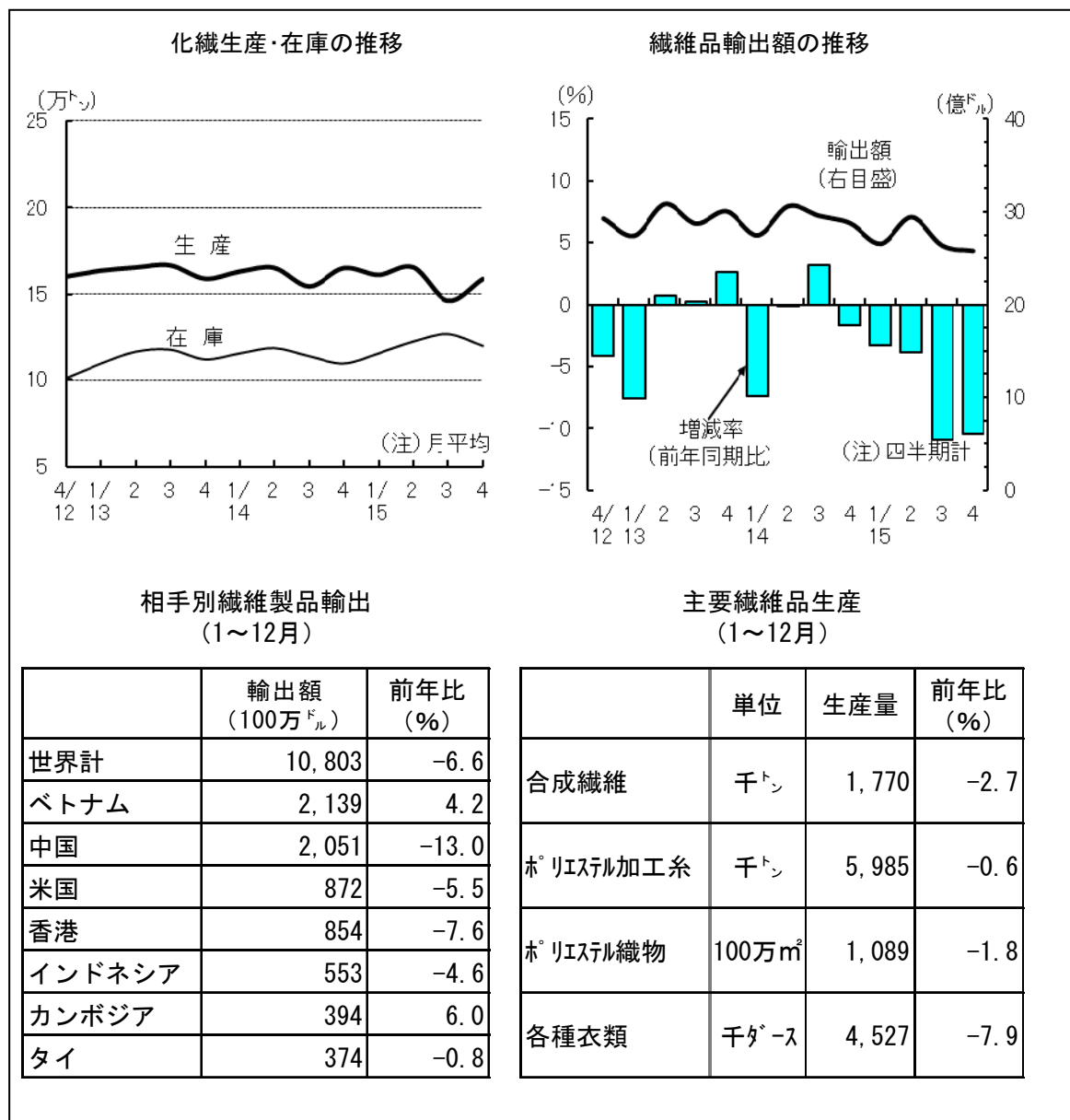
仕出地別にみると、中国からの輸入は前年比 2.9%減の 62.4 億^{ドル}、シェアは 42.8%と前年より 0.5 ポイント下落した。第 2 位のベトナムは同 2.6%増の 27.7 億^{ドル}となった。

繊維品輸入実績

(100 万^{ドル}、%)

	2011	2012	2013	2014	2015	前年比
繊維原料	1,601	1,318	1,203	1,135	1,038	-8.6
糸類	2,555	1,943	2,120	2,081	1,904	-8.5
織物類	1,497	1,333	1,317	1,306	1,275	-2.4
衣類	6,116	6,273	7,541	8,484	8,520	0.4
その他二次製品	1,480	1,474	1,637	1,819	1,823	0.3
繊維品合計	13,248	12,342	13,818	14,824	14,560	-1.8

(8) 台湾



・概況

2015年の台湾の繊維産業は、化合繊生産、繊維品輸出とも前年実績割れとなり、繊維産業全体の規模縮小が続いた。

・化繊生産

2015年の化合繊生産は前年比1.5%減の191.5万トンとなった。

主要品種別にみると、ナイロンFは5.4%減の29.2万トン、ポリエステルFは0.5%

増の 92.4 万トン、ポリエステル S は 2.7%減の 51.5 万トン、アクリル S は 8.1%減の 5.7 万トンとなった。

主要化合繊の生産高

	(1000 トン、%)					
	2011	2012	2013	2014	2015	前年比
ナイロン F	309	319	316	309	292	-5.4
ポリエステル F	1,032	922	923	919	924	0.5
ポリエステル S	536	555	538	529	515	-2.7
アクリル S	94	68	68	62	57	-8.1
化合繊合計	1,972	1,963	1,965	1,945	1,915	-1.5

・設 備

2015 年末の主要化合繊の設備は前年末の水準と比べ 67 トン減の 7,014 トンとなった。品種別にみると、ナイロン F で 58 トン、ポリエステル F で 39 トン減少した一方で、ポリエステル S は 30 トン増加した。

稼働率は、化合繊全体では 74.8%となった。ポリエステル F を除き下落した。

主要化合繊の生産能力（年末値）

	(日産トン)					
	2011	2012	2013	2014	2015	増減
ナイロン F	1,745	1,348	1,393	1,311	1,253	-58
ポリエステル F	4,360	3,505	3,545	3,433	3,394	-39
ポリエステル S	1,888	2,032	2,036	2,017	2,047	30
アクリル S	360	300	300	270	270	0
化合繊合計	8,826	7,675	7,764	7,081	7,014	-67

主要化合繊の稼働率

	(%)				
	ナイロン F	ポリエステル F	ポリエステル S	アクリル S	化合繊合計
2014.1～12	64.6	73.3	71.9	62.9	75.3
2015.1～12	63.8	74.6	68.9	57.8	74.8

・輸 出

繊維品輸出は前年比 6.7%減の 112.7 億ドルと 3 年連続で前年実績を下回った。段階別にみると、繊維原料は 18.4%減の 10.2 億ドル、糸類は 19.9%減の 15.3 億ドル、織物類は 8.5%減の 26.9 億ドル、衣類は 5.3%減の 7.8 億ドルと減少したが、その他二次製品（ニット生地、不織布、産業資材、家庭用品等）は 1.8%増の 52.6 億ドルとなった。

主要化合繊の輸出は、ポリエステルSが微増となったほかは、ナイロンF、ポリエステルF、アクリルSとも減少した。

繊維製品輸出を主要仕向地別にみると、第1位のベトナムは4.2%増の21.4億ドルとなり、中国を凌ぎ最大の輸出先となった。第2位の中国は13.0%の大幅減となった。第3位の米国向けは5.5%減、第4位の香港は7.6%減、第5位のインドネシアは4.6%減と減少した。

化合繊輸出（数量ベース）は前年比6.1%減の101.1万トン、最大の仕向け先のベトナム（7.4%減の19.1万トン）、第2位の中国（6.3%減の17.5万トン）とも減少した。

繊維品輸出実績

(100万ドル、%)

	2011	2012	2013	2014	2015	前年比
繊維原料	1,483	1,332	1,283	1,255	1,024	-18.4
糸類	2,438	2,158	2,040	1,905	1,525	-19.9
織物類	3,347	3,035	2,913	2,942	2,691	-8.5
衣類	928	895	842	819	776	-5.3
その他二次製品	5,038	4,914	5,105	5,166	5,257	1.8
ニット生地	2,446	2,450	2,620	2,673	2,806	5.0
繊維品計	13,233	12,335	12,183	12,086	11,273	-6.7

・輸 入

繊維品輸入は前年比0.6%増の36.2億ドルとなった。段階別にみると、繊維原料は17.6%減の大幅減、糸類は1.4%増、6.7%減と減少したが、織物は11.1%減、衣類は9.7%増となった。

仕向地別にみると、最大の中国から輸入は1.7%増の15.5億ドルとなった。第2位のベトナムからの輸入は23.3%増の3.7億ドルの大幅増となった。

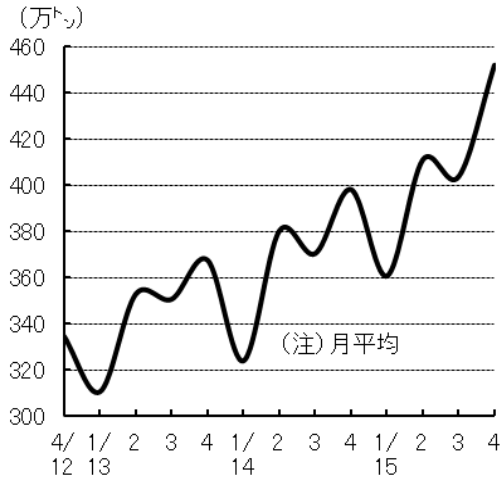
繊維品輸入実績

(100万ドル、%)

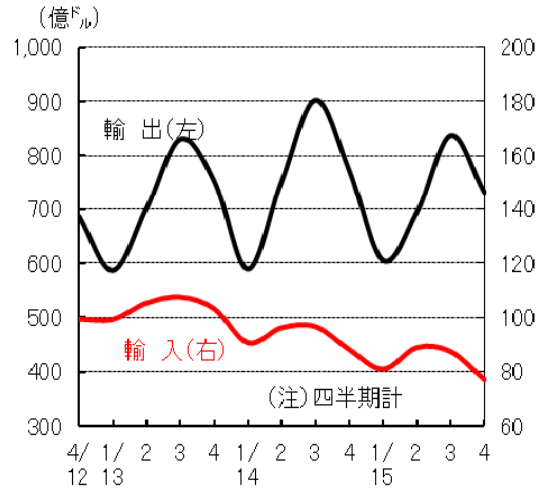
	2011	2012	2013	2014	2015	前年比
繊維原料	901	689	670	612	505	-17.6
糸類	494	393	425	397	402	1.4
織物類	252	227	210	235	209	-11.1
衣類	1,515	1,628	1,596	1,746	1,916	9.7
その他二次製品	590	559	557	607	588	-3.1
繊維品計	3,752	3,496	3,459	3,597	3,620	0.6

9) 中国

化繊生産の推移



繊維品貿易の推移



相手別繊維製品輸出
(1~12月)

	輸出額 (億ドル)	前年比 (%)
世界計	2,839	-4.9
アジア計	1,241	-5.8
日本	216	-11.7
香港	139	-15.9
アセアン	358	-0.8
ベトナム	149	-5.8
EU	531	-9.4
米国	477	6.7

繊維業界の主要指標
(1~12月)

	単位	指標	前年比 (%)
企業数	万社	3.8	-
赤字企業数	万社	0.4	12.7
主要業務収入	億元	69,534	5.0
うち化繊産業	億元	7,293	1.2
利潤総額	億元	3,787	5.4
うち化繊産業	億元	313	15.2
繊維産業実際投資	億元	11,643	15.4
うち化繊産業	億元	1,112	1.2

(注) 繊維産業は、紡織、衣類、化繊の計

社会小売財消費総額
(1~12月)

	単位	数値	前年比 (%)
商品売上総額	億元	300,931	10.7
うち繊維品等	億元	13,484	9.8

繊維関連物消費者物価指数
(1~12月)

	前年同期比 (%)
消費者価格指数・全製品	1.4
消費者価格指数・衣類等	2.7

・概 況

2015年の中国の繊維産業は、これまでの高い伸びから、一部の指標では鈍化がみられた。但し、全般的には、生産、内需等は堅調に推移した。一方で、繊維品輸出は6年ぶりの減少となった。2015年の規模以上の繊維企業の工業増加値（GDPに相当）は前年比6.3%増と、14年と比べて0.7ポイント伸びが鈍化した。2015年の繊維産業の主要指標は、主要業務収入は5.0%増、利潤総額は5.4%増と堅調であった。繊維産業の投資は15.4%増と2桁の伸びが続いている。

・生産動向

主要な繊維品生産をみると、化合繊は2桁増となったが、紡績糸、織物は1桁の伸びとなった。化合繊は前年比12.5%増の4,872万ト、紡績糸は4.7%増の4,048万ト、織物は3.1%増の710億mとなった。一方、産業用繊維製品の生産は、不織布を中心に引続き好調であった。

主要繊維品の生産動向

	2011	2012	2013	2014	2015	前年比(%)
化合繊（1000ト）	33,901	38,374	41,338	43,307	48,720	12.5
紡績糸（1000ト）	27,179	29,840	36,113	38,658	40,475	4.7
織物（億m）	814	849	683	689	710	3.1
衣類（億点）	252	267	-	-	-	-

化合繊生産を品種別にみると、レーヨンは4.5%増の346万トとなった。主力のポリエステルは13.8%増の3,661万ト、供給過剰問題が続いているものの、増産基調は変わっていない。ナイロンは17.6%増の277万ト、アクリルは7.1%増の67万トとなった。ポリウレタンは6.0%増の51万トとなった。

化学繊維の品種別生産動向

(1000ト、%)

	2011	2012	2013	2014	2015	前年比(%)
レーヨン	2,628	3,480	3,904	3,313	3,463	4.5
ナイロン	1,578	1,815	2,113	2,357	2,771	17.6
ポリエステル	27,928	30,570	33,406	32,177	36,608	13.8
アクリル	707	694	694	629	674	7.1
ポリプロピレン	305	369	264	263	260	-1.0
ポリウレタン	264	308	390	484	513	6.0
化合繊合計	34,102	37,922	41,219	43,307	48,720	12.5

繊維関連内需をみると、衣料用内需は引続き堅調に推移した。2015年の繊維品に関する社会小売消費総額は前年同期比9.8%増となった。

・輸 出

繊維品輸出は前年比 5.0%減の 2,868 億^{ドル}、6年ぶりの減少となった。段階別にみると、繊維原料は 7.9%減の 32 億^{ドル}、紡織品は 2.4%減の 1,090 億^{ドル}、衣類等二次製品は 6.4%減の 1,746 億^{ドル}と、全段階で減少した。

化合繊輸出（数量ベース）は前年比 4.8%増の 344 万^{トン}と続伸している。そのうち、最大のポリエステル F は 7.4%増の 171 万^{トン}となった。

繊維品製品輸出を仕向地別にみると、アジア向けは 5.8%減、日本向けは 11.7%減と減少が続いている。最大の仕向地である EU 向けは 9.4%減となったが、米国向けは 6.7%増と堅調に推移した。

繊維品輸出実績

(100 万^{ドル}、%)

	2011	2012	2013	2014	2015	前年比(%)
繊維原料	3,775	3,220	3,162	3,441	3,169	-7.9
紡織品	94,420	95,459	106,590	111,633	108,954	-2.4
衣類	153,781	159,619	177,450	186,571	174,631	-6.4
繊維品計	251,976	258,298	287,202	301,767	286,754	-5.0

・輸 入

繊維品輸入は前年比 10.0%減の 335 億^{ドル}となった。段階別にみると、繊維原料は 26.0%減の 80 億^{ドル}の大幅減となった。紡織品は 6.3%減の 190 億^{ドル}、衣類等二次製品は 6.4%増の 66 億^{ドル}と増加した。

繊維品輸入を相手別にみると、上位 3 か国の台湾（10.1%減）、日本（13.4%減）、インド（25.9%減）がいずれも 2 桁減となったが、第 4 位のベトナムからの輸入が、中国企業の進出もあり、近年急拡大しており、2015 年は 17.6%増の 25.5 億^{ドル}となった。

2015 年の綿花輸入は 38.6%減の 156 万^{トン}（金額ベースでは 48.0%減）と減少が続いている。

繊維品輸入実績

(100 万^{ドル}、%)

	2011	2012	2013	2014	2015	前年比(%)
繊維原料	15,793	17,650	14,650	10,744	7,950	-26.0
紡織品	18,901	19,804	21,567	20,246	18,970	-6.3
衣類	4,013	4,523	5,322	6,163	6,558	6.4
繊維品計	38,707	41,977	41,540	37,178	33,479	-10.0

合繊輸入は、アクリル S が横ばいであったのを除き減少した。ナイロン F は 15.8%減、ポリエステル F は 1.2%減、同 S は 4.3%減となった。

合繊原料輸入は、EG は 3.8%増と増加したが、国内で新增設が続いた PTA は 35.4%減の 75 万トンとなった。

主要合繊輸入を仕出地別にみると、合繊 4 品種とも依然として日韓台からの輸入が全体の 6 割を占めている。

主要合繊ファイバー・合繊原料の輸入実績

(1000 トン、%)

	2011	2012	2013	2014	2015	前年比(%)
ナイロン F	179	174	172	153	128	-15.8
ポリエステル F	162	126	117	112	111	-1.2
ポリエステル S	120	112	128	133	127	-4.3
アクリル S	195	187	212	159	159	0.0
EG	7,269	7,965	8,246	8,450	8,772	3.8
PTA	6,526	5,370	2,743	1,164	752	-35.4
CPL	633	707	453	223	224	0.1

主要合繊ファイバーの日韓台からの輸入実績

(1000 トン)

	日本	韓国	台湾	その他	合計
ナイロン F	8	12	61	47	128
ポリエステル F	4	17	52	38	111
ポリエステル S	5	67	19	35	127
アクリル S	74	11	26	48	159

10) 米 国

・概 況

2015年の米国の合繊生産は前年比0.7%減の284.8万トンとなった。主要品種のナイロンF、ポリエステルFはいずれも産資用が大幅に減少した。繊維産業の生産指数は、紡織工業（生地や染色加工など）が4.8%上昇と鉱工業全体の上昇幅（1.3%）を上回ったが、紡織製品（カーペットなどインテリア用途など）、衣類は前年比横ばいとなった。繊維製品輸入は前年比4.2%増の1,119億ドルと史上最高となった。中国に続く第2位の仕出国であるベトナムが13.4%増と前年に引き続き2桁の大幅増となった。

・合繊生産

合繊生産は前年比0.7%減の284.8万トンと微減。主要品種別にみると、ナイロンFが8.0%減の52.5万トンと減少、主力のカーペット用が5.4%減の44.1万トンと減少した他、産資用が22.9%減の5.8万トン、紡織用が11.2%減の2.7万トンとそれぞれ2桁減となった。ポリエステルFは2.2%増の65.0万トン。カーペット用が11.2%増の39.7万トンと大幅に増加、紡織用も0.5%増の17.8万トンと増加した一方、産資用は26.6%減の7.4万トンと前年の4分の3の規模に縮小した。ポリエステルSは0.7%減の62.9万トン。国内向け出荷は不織布用が増加したが、カーペット用は減少。オレフィンFが4.8%増の90.1万トン、同Sが15.2%減の14.3万トン。オレフィンFの国内向け出荷は、モノフィラメント・スパンボンド・フィルムファイバーが前年比7.4%増、マルチフィラメントは6.0%減であった。

主要品種別合繊生産

(1000トン)

	2014	2015	前年比(%)
ナイロンF	570.8	525.3	-8.0
産資用	74.7	57.6	-22.9
カーペット用	466.2	441.3	-5.4
紡織用	29.8	26.5	-11.2
ポリエステルF	635.6	649.8	2.2
産資用	101.2	74.3	-26.6
カーペット用	357.2	397.3	11.2
紡織用	177.3	178.2	0.5
ポリエステルS	634.0	629.4	-0.7
オレフィンF	859.4	900.6	4.8
オレフィンS	168.7	143.0	-15.2
合繊計	2,868.5	2,848.1	-0.7

(出所) Fiber Review

・ 紡織生産

紡織工業の生産は、生産指数が前年比 4.8%上昇し、鉱工業全体の上昇幅（1.3%）を上回った。内訳でみると生地が 5.3%、染色加工が 6.3%の上昇となった（糸・縫糸は未発表）。

紡織製品の生産指数は 0.1%の低下とほぼ横ばい。インテリア製品は、カーペット用等が 2.8%低下し、2年連続での低下となった。衣料は前年比横ばい。

紡織・衣料工業の生産指数推移

(2007=100、%)

業種	2011	2012	2013	2014	2015	前年比
鉱工業	97.2	100.0	101.9	105.7	107.1	1.3
紡織工業	102.0	100.0	103.3	102.7	107.6	4.8
糸・縫糸	92.9	100.0	104.9	101.6
生地	102.8	100.0	102.4	103.1	108.6	5.3
染色加工	106.7	100.0	104.0	102.7	109.2	6.3
紡織製品	104.6	100.0	102.6	106.0	105.9	-0.1
紡織インテリア製品	103.1	100.0	100.7	101.1	100.9	-0.2
カーペット等	103.2	100.0	103.2	102.1	99.3	-2.8
その他紡織製品	106.3	100.0	104.5	111.1	111.1	-0.1
衣料	103.0	100.0	94.6	92.7	92.7	0.0

(出所) 米連邦準備制度理事会

・ 輸 入

2015年の繊維製品輸入は前年比 4.2%増の 1,119 億ドルと、これまで最大だった前年（1,075 億ドル）を上回り、史上最高となった。仕出地別にみると、全体の 4 割近くを占める中国が 3.3%増と増加したのに加え、第 2 位の仕出国であるベトナムが 13.5%増と前年に引き続き 2 桁の大幅増となった。インド（8.2%増）、バングラデシュ（11.9%増）、インドネシア（2.3%増）と主要仕出国はいずれも増加した。

衣類輸入は 4.1%増の 818 億ドル。最大仕出国の中国が 2.5%増となったほか、ベトナムが 14.0%増、バングラデシュが 11.7%増、インドネシアが 2.2%増となった。またインドが近隣国のメキシコを上回り、第 5 位の仕出国となった。中国の衣料輸入全体に占める割合は 35.9%と、前年の 36.4%から 0.5 ポイント低下した。

繊維製品輸入実績

(100万ドル)

繊維製品計				うち衣類			
仕出地	2014年	2015年	前年比(%)	仕出地	2014年	2015年	前年比(%)
中国	41,820	43,219	3.3	中国	29,794	30,541	2.5
ベトナム	9,955	11,290	13.4	ベトナム	9,269	10,564	14.0
インド	6,717	7,270	8.2	バングラデシュ	4,834	5,401	11.7
バングラデシュ	5,005	5,602	11.9	インドネシア	4,833	4,938	2.2
インドネシア	5,065	5,181	2.3	インド	3,401	3,665	7.8
世界	107,460	111,928	4.2	世界	81,781	85,165	4.1

(出所) 米商務省

11) 欧州

・概況

2015年の欧州の合繊生産は産資用ポリエステルFが1.6%増と3年連続で増加した一方、紡織用ポリエステルFは14.9%減と大幅に減少した。

域内の生産活動は紡織工業が前年比0.6%低下、衣料工業が1.4%低下となった。

EU28の繊維製品輸入(域外輸入)は前年比9.5%増の1,153億ユーロと大幅に増加した。低コスト国のバングラデシュ、ベトナム、カンボジアが2桁増となったほか、多くの仕出国・地域が増加した。

・合繊生産

合繊生産は、産資用ナイロンFが前年比5.5%減の10.5万トと減少に転じたのに対し、産資用ポリエステルFは1.6%増の13.6万トと3年連続で増加した。紡織用ポリエステルFは14.9%減の19.9万トと大幅に減少し、20万トを割った。ポリエステルSは1.9%減の65.1万トと3年連続で減少した。

主要合繊の生産高

	(1000ト、%)				
	2012	2013	2014	2015	前年比
産資用ナイロンF	105.4	108.6	110.8	104.7	-5.5
紡織用ポリエステルF	218.2	235.1	233.7	199.0	-14.9
産資用ポリエステルF*	128.7	130.4	133.8	135.9	1.6
ポリエステルS*	684.4	677.0	662.9	650.6	-1.9
アクリルS	566.9

(出所) CIRFS

(注) その他の品種は未発表。*ベラルーンを含む。

・紡織・衣料生産

2015年のEU28の紡織工業の生産指数は前年比0.6%低下した。国別で見ると、ドイツは上昇したものの、フランス、イタリア、英国は下落した。

衣料工業の生産指数はEU28全体が1.4%の低下。紡織工業と異なり、ドイツが5.2%低下したが、フランス、イタリア、英国は上昇し、英国は2010年の水準を上回っている。

紡織・衣料工業の生産指数の推移

	(2010=100、%)							
	紡織工業				衣料工業			
	2013	2014	2015	前年比	2013	2014	2015	前年比
EU28	93.0	95.3	94.7	-0.6	87.2	86.8	85.5	-1.4
ドイツ	93.7	96.1	97.2	1.2	87.1	91.8	87.0	-5.2
フランス	99.8	100.4	99.6	-0.8	86.2	89.6	92.2	2.9
イタリア	85.9	89.0	84.9	-4.6	76.9	75.5	76.7	1.5
英国	87.8	83.7	76.0	-9.3	94.3	95.2	102.8	8.0

(出所) Eurostat

・輸 入

2015年のEU28の繊維製品輸入（域外輸入）は、前年比9.5%増の1,153億ユーロであった。

仕出地別にみると、主要仕出国の中国が6.7%増の420億ユーロであったほか、バングラデシュが23.0%増の141億ユーロと大幅に増加し、欧州と地理的に近いトルコ（3.4%増、144億ユーロ）と同水準に拡大した。またASEANが20.0%増の112億ユーロと大幅増加が継続し、100億ユーロの大台となった。ASEANの中では低コスト国のベトナム（23.9%増、33億ユーロ）やカンボジア（31.7%増、30億ユーロ）の増加が依然顕著であるのに対し、タイは微減（0.8%減）の11億ユーロとなった。その他の仕出国の多くも増加しており、最大仕出国である中国の域外輸入全体に占める割合は2014年の37.3%から36.4%に低下した。

EU28の繊維製品輸入（域外輸入）

(100万ユーロ、%)

国・地域	2013	2014	2015	前年比
世界計	96,700	105,353	115,326	9.5
中国	36,547	39,324	41,970	6.7
トルコ	13,189	13,940	14,408	3.4
バングラデシュ	10,176	11,483	14,125	23.0
ASEAN	8,061	9,329	11,192	20.0
ベトナム	2,173	2,641	3,273	23.9
カンボジア	1,777	2,261	2,979	31.7
インドネシア	1,687	1,734	1,801	3.9
マレーシア	1,038	980	1,193	21.7
タイ	1,039	1,090	1,081	-0.8
インド	7,009	7,677	8,308	8.2
モロッコ	2,287	2,517	2,561	1.7
チュニジア	2,348	2,376	2,306	-2.9
米国	1,640	1,676	1,987	18.6
スイス	1,411	1,536	1,632	6.3
韓国	1,105	1,194	1,268	6.2
エジプト	831	888	926	4.2
日本	665	678	732	7.9

(出所) Eurostat

合繊4品種需要実績(2015年10～12月)

※国内需要の衣料・非衣料の対前年同期比欄について、2015年1～3月から両者の比率見直しにより空欄とします。

I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2015年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	24,840	105.9	
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	39,312	103.8	
	計 (輸入)	64,152 (34,694)	104.6 (109.7)	100.9 (109.6)
輸出 (原糸、加工糸)		1,949	106.1	101.9
需要計		66,101	104.7	101.0
在庫		11,820	94.1	102.6

(注)国内需要の()内数値は輸入量

II. ポリエステルステープル需要実績

(単位:トン、%)

		2015年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む)	4,722	99.8	
	非紡績用 (加工品輸出用含む)	36,237	103.0	
	計 (輸入)	40,958 (12,526)	107.9 (125.8)	107.4 (137.1)
輸出 (ステープル・トウ・トップ)		2,765	87.5	85.0
需要計		43,723	106.4	105.7
在庫		19,559	83.7	104.5

(注)国内需要の()内数値は輸入量

III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2015年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	5,455	90.4	
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	18,443	101.6	
	計 (輸入)	23,898 (8,834)	98.8 (100.9)	99.7 (119.3)
輸出 (原糸、加工糸)		6,981	94.5	101.8
需要計		30,879	97.8	100.2
在庫		10,710	87.7	107.4

(注)国内需要の()内数値は輸入量

IV. アクリルステープル需要実績

(単位:トン、%)

		2015年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	5,573	81.1	
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	1,585	101.1	
	計 (輸入)	7,158 (219)	84.8 (119.7)	134.0 (163.4)
輸出 (ステープル・トウ・トップ)		24,384	78.4	89.0
需要計		31,542	79.8	96.4
在庫		11,081	103.4	89.6

(注)国内需要の()内数値は輸入量